

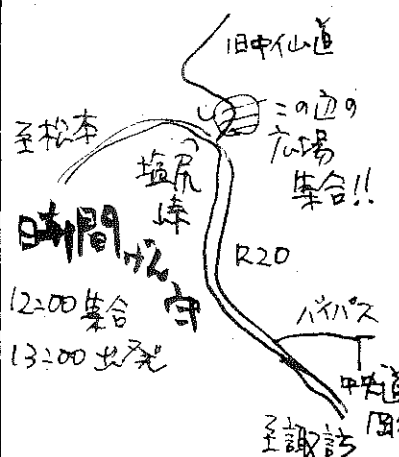
寺崎組新聞

第三百二十二号

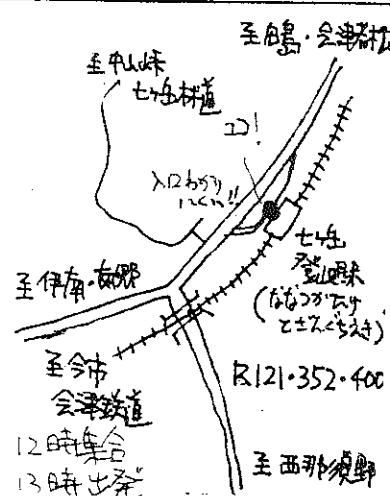
平成三十年度 組会地決定

七月十四日(土)

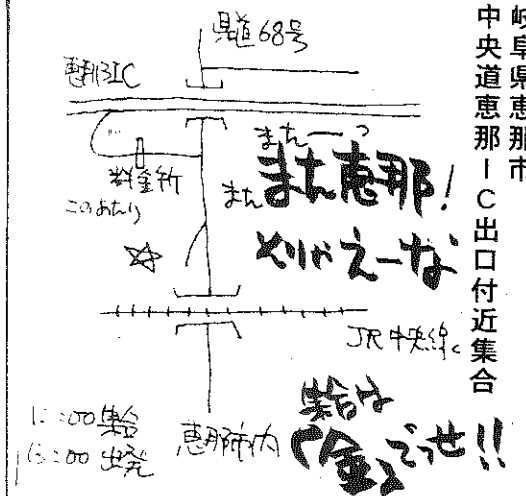
長野県塩尻・岡谷市境
国道20号線塩尻峠集合



九月十三日(土)

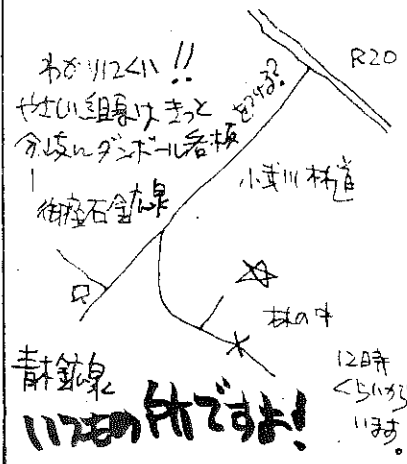


十一月十三日(金)

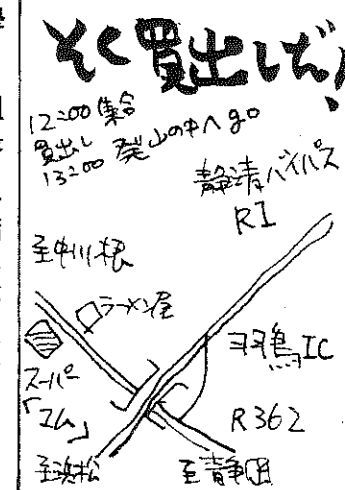


十二月二日(土)

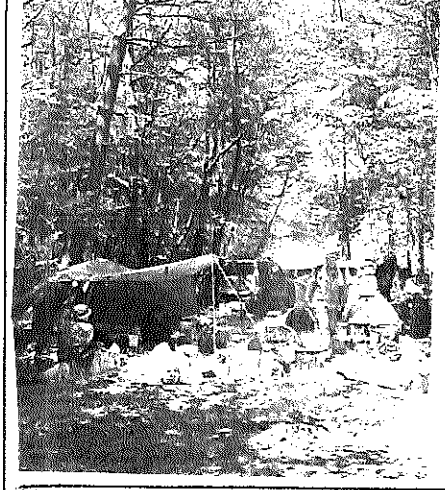
山梨県韮崎市小武川林道奥
通称スキヤンプ場手前の尾根奥合



平成三十一年 三月二日(土)



組長と一緒に走り、野宿する。
参加費 一人 5000円
酒・食料持参
ただの野宿宴会。
参加費 一人 3000円



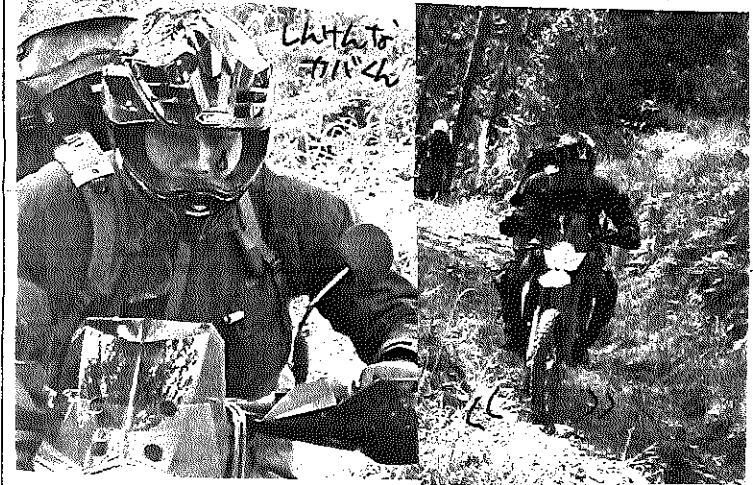
3月天竜組会報告

寺崎劇場で、わだちがフジャー

175回組会報告

1日目
参加者9名：りようふうさん(XR400)、赤貧さん(CRM80)、村松岡さん(レイド)、カバさん(KTM)、ロッカーさん(XLX250R)、下鉄さん(WEX250)、オガさん(ジェベル)、三浦2号(XR650)
3月の塾は、いつもの遠鉄ストア・天竜店で待ち合わせ。なんと、1号(ゴ三浦)さんが、組会の日にちを一週間前間違え、参事ができないという事件からスタートする。
買い出しを済ませて、いつものように午後1時過ぎに遠鉄ストアを出発し林道に入る。ここで、いきなり寺崎劇場「わだちがフジャー」が待ち受けているとは、組員は誰も予想していなかった。その第一幕は、予いきなり急こう配、上り坂でしようう、で始まった。小型のCRM80は、かろうじて登れるが、倒木を跨いだ衝撃でアウト。他の組員もスタック等で止まっている。そこに第2幕、「わだちがバカやねろ」が加わる。「急こう配」+「グサッとエグれた轍」で、組員は狂乱状態。次々と倒れていく。寺崎監督の今回の演出は、初日の午後にはピークを迎えた。

1時間弱に及ぶ阿鼻狂乱状態の組員達のスタックを終えた頃、監督から、今回はこれが全てですとの言葉をを受け、参加している後者さんでも木ツトと一息を着く。もうこれ以上は無地という安心感と共に、初日の宿泊地に向けて林道移動開始。この後、「組長の嘘つきさ！」と言う叫び声を聞く事もなく、無事に野宿地に着いた。



恒例の宴が始まった。昨今の参加者高齢化の為、廻される料理もさつぱり系が増えてきている、今日のこの頃の宴。今回の参加者のメンツによる影響か、定番の「駅名連呼」は行われず、「電気法則」の技術話になり、実に勉強になる宴だった。宴の最中には、どこか人里離れた場所に土地を買って、組員が集まって好き勝手な事ができる場所を作りたいという話題になった。これはいよいよアイデアですね。是非、実現したいものです。また、しらび所に土地を買って、寺崎組・永代供養の碑を建てる案も出た。将来、入るお墓が無い人は、ここに入って、亡くなった後も組員達と宴会を続ける事が出来る。

天竜組会一言

●2回目のサンパー・トラポ参加でした。天竜・月の野宿地で赤貧さんと前泊、石原商店で整備・ショトサスにしても良かったXRは最高！組長が選んだ難所も難なくクリアできましたよ。(りようふう)
●3年ぶりの組会の思い出は全身の筋肉痛としてのこりました。(赤貧)
●西からドヤドヤとやって来た年高の約2名は前乗り前泊にもかかわらず本番一泊で息が切れたかな？(村松岡)
●このみくちくちは、いつか来たみくちくちと思わず歌が生まれました。が、いつもどおり、やっぱり楽しい組会でした。(赤貧)
●やたらと転けた組会でした。林道で汗だくになったおかげで？酒がすこぶる美味かった！(カバ)
●気が良くてよかったです。またまた、大転倒しました！すみません。(オガタ)
●今だにXLXの始動に手こずり汗だくで良い運動になりました！(ロッカー)
●リヤタイヤにスリップライン、ヌタ道でアクセルを開けると横に流れました。皆さんも早めのタイヤ交換をお勧めします。(地下鉄)

2日目
帰った者5名、残り4名：りようふうさん、赤貧さん、村松岡さん、カバさん、ロッカーさんは帰り、組長、地下鉄さん、オガさん、2号の4人になった。
いつものちっちゃいスーパー(名称忘れました)で買い出し後は宿泊地へ。組長の軽トラ駐車場です。(記憶がありません。)

3日目
朝、7時過ぎに野宿地を出て解散となりました。

記 三浦2号

GW恒例 小武川野宿宴会記

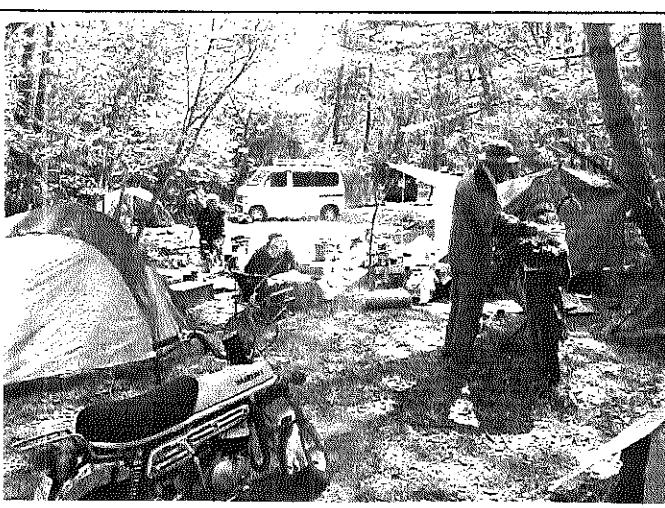
176回組会報告

さて今年もやって来ましたがGW。しかしギリギリまで休みが固まらず、何とか休めそうだと、なったのが出発2日前。取り敢えず、いつもの装備は準備済み、バイクのオイルを交換したり、各部の点検をしたりして、後は荷物を積み込んだ。そして今日は5月2日、渋滞を避けるべく前日入りを目指す。今の所、リょうふう、ゴ三浦の両名がフライング宣言。あとは誰が来るかは神のみぞ知る。

雨が降る前に現地入りをするべく早朝出発。途中小雨に遭うも、ノーカッパで現着。取り敢えず寝床を作り、野宿地(宴会場?)に大きく横たわる倒木を片付け、遅い昼食と、まずは一杯。昼間からと思う向きもあるが、まあ旅行だから。ポツポツと降り出した雨の音を聞きながらウトウトしていると、どこかで聞いたようなフラットツインの音が。そこに現れたのは、なんとリょうふうさん。きいちゃん2号とはこいつの事だったのか! ガツツリと手の入ったR100GS、てっきり、きいちゃんとは違うワンコを乗せて、サンバーで来ると思っていたのだが...

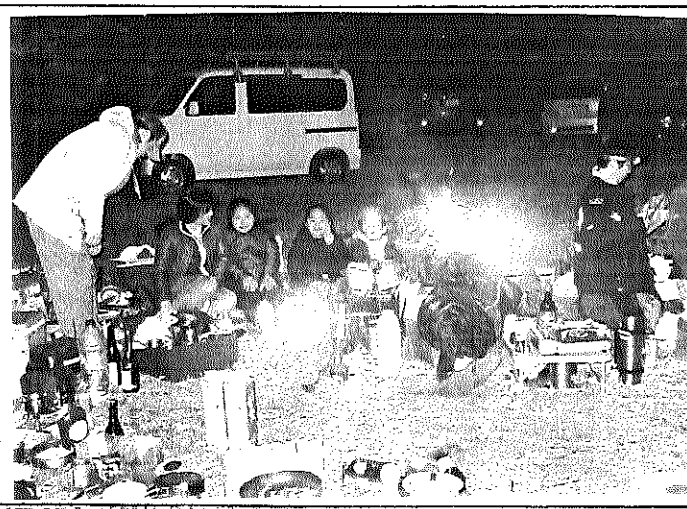
いやあやあ、どうもお久しぶり、などと四方山話をしていると、寺さん仕様のジムニー到着、ゴ三浦さんだ。これで取り敢えずフライング宣言組は全員集合完了! 今夜は大荒れとの予報なので、ジムニーを基礎にして、宴会場の設営だ。ピャピャッとタープ(ドカシ?)を張り、到着当日は解禁お構

いなしと言う、良く判らない特別ルに則り、そそくさと乾杯、まだ日も高いのに宴会スタートである。いつもの間にか降り出した雨の中、いつもの如く、いつもの様に、夜は更けていったのである。明けて野宿宴会開始当日、昨晩も思った程にひどい天候でも無く、穏やかな朝。昼前位から三々五々、いつもの面子が到着してゆく。(順番は忘れたので編集部宜しく)挨拶もそこそこに、今日何度目かの乾杯をしつつ、いつもの宴会風景が出来上がってゆく。

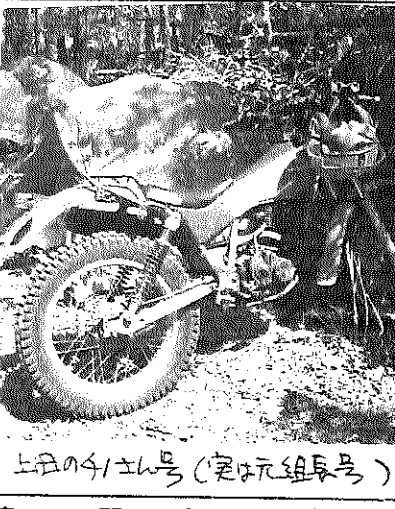


今回の寺さんのピックアップ・ドックリメカはスズキのEPOだ。ホンダのモトコンボを彷彿とさせる様な、コンバクト原チャリだ。連載のジムニー野宿旅でジムニーの艦載機として、先行き不明な林道で経路偵察に使うらしい? 日も暮れて、焚き火が燈り、皆の一品料理が廻り出す。ユルユルとグダグダだけど、穏やかで心安らく時間

が過ぎてゆく。そのうち1人2人と消えてゆき、シユラフに入ったのは日付変更線を越えたかどうか定かでは無い...



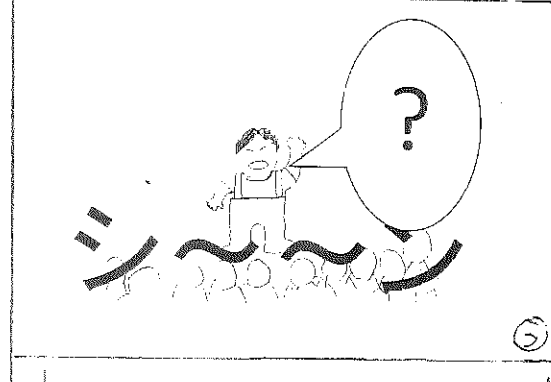
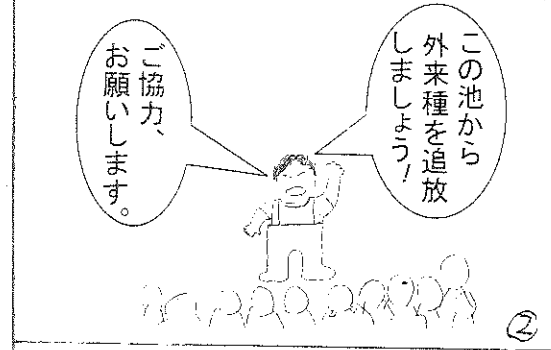
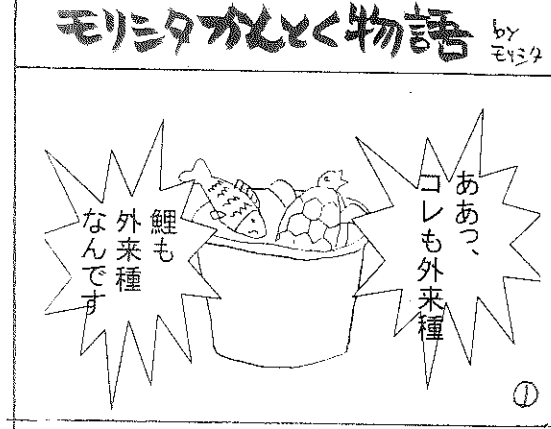
翌日は天気も良く、絶好のウタウタ日和? 皆、思い思いに過ごす。エアバルブの位置が気に食わないとバイクをバラす人、今日の肴を確保するために川へ籠もる人、そこらに荷物をぶちまけて、全く片付かない人、買い出しや突然始まるバイク試乗会、組内循環中古品の品定め等



上の今/エム号 (定は元組長号)



全員集合



池の水抜きましょう in 有栖川記念公園
ギャラリーほぼ全員が外来種
有栖川記念公園 都内港区の各国大使館集中地帯に位置している。

小武川組会一人一言

●今年が一番の混みようでした。サントリーから白州の道の駅まで車が数珠つなぎ!(赤貧)
●久組長のエボが可愛くてハスラー売ってエボにしました!(ロツカ)

厳冬の、耐えるしはれる北海道 2012ver その4

祝! 最北端到達!
途中のホクレンで給油したのだが、今回はやけに燃費が悪い。時として30km/Lを切る事も。この125ccでは、知らずの内にアクセルを開け気味になっているのだらう。さらに北上を続け、出発前の計算どおり12時半に宗谷岬に着。感無量である。頑張った走った甲斐があった。冬の宗谷岬は、新世紀を迎えた2001年の元旦以来である。さてここで昼食でも...と思っ

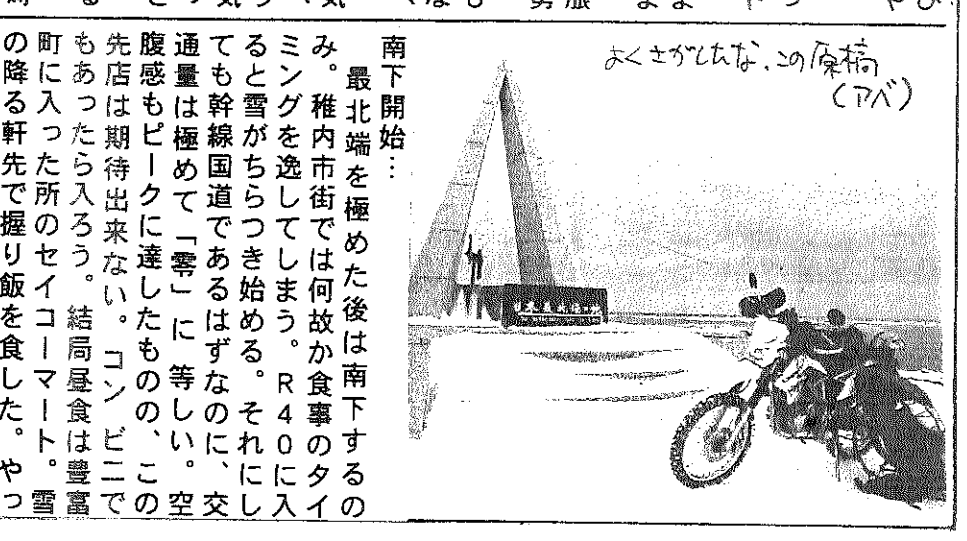
たが、岬のドライブインや国道沿いのラーメン屋も閉まっている。誰一人として居ない。誰も居ないのはいかに、最北端の岬の前では存分に写真を撮った。3、40分は居ただろうか? 達成感と空腹感と虚無感が入り混じった複雑な気分のまま、稚内に向けて走り出した。

往く人、来る人で若干のメンバー交代はあるが、2日目(フライング組は3日目)も昨日に同じ光景だ。写真を見ても、日付が同じじゃない? と、いつどこかの写真だか判らない?(呑んだくれてる写真は、気候は確実に温暖化している事。昔はもって新緑が眩しく、今ほど葉っぱは茂って居なかった。朝晩は肌寒く、過去には居なかったブヨや蚊が飛び、夏でも居なかった蚊も出る。日々の生活では余り実感出来ないが、こうした自然の中に居ると、その片鱗を垣間見る様な気がする。

最後に今年のGW野宿宴会のキーワードは「みなぎり!」(漢字で書くと「漲り」です。詳しく知りた人は、伊藤電気までお問い合わせを!!) 今回は十数年振りにレポートを書いた、管理人@北でした。お粗末!!

珍客現る: 国道をそれ天塩川を渡り道道へ。道道に入るといきなり除雪のクオリティが下がり、ハンドルを取られ走りにくい。その場所には田舎町にはそぐわない「ポンピラアクリズイグ」という名前の近代的な施設があった。とりあえず温泉は確保でき、さて野宿場所というところ、隣接するオートキャンプ場の母屋の軒先にせせと除雪をして入り込み、まんまとテントを設えた。一般人に成りすましてゆくり入浴。しっかりと温まったところで、正面玄関から一人を方向へ向かうのを怪しまれない様にテントに戻ると、いきなりガサゴソという音と共に珍客が! モルモット? ハムスター? 帰宅後に調べた所、エゾヤチネズミというネズミであった。いやあそれにも驚いた! 本日の走行301km (つづく)

●松の葉が、よく燃えることに、びっくりした。() by 庄司たくや (7歳) (でいく)
●安房トンネル前後で雹に降られ、最後に到着しました。宴会楽しかったです。ありがとうございます。(トヤマのミノル)
●今回はバイクを洗って準備してました。出発の朝、雨で出発が遅れました。(のむら)
●オレらの世代の愛読雑誌は、「漲り」だよ! み・な・ぎ・り! (伊勢の伊藤電気)
●一年ぶりの参加でしたが、とても有意義な時間を過ごせました。みなぎり世代には負けないぞ! (サンペイ)
●きいちゃん2号で自走参加。寒気は入ってきたけど、木々の葉の多さ、虫、ヤナギの綿毛、温暖化でしょうか? 何か季節は進んでいるような気がします。でもいつものようにマツタリした時間を過ごせました。皆さんありがとう。(りょうふう)
●地球温暖化がここまで進んでいるとは! ブヨは嫌いです!(ゴ三浦)
●天気が良くてよかったです。何時ものように、昼から、飲みすぎました! すまんね。(オガタ)
●前日入りの人たちは雨だったようですが、今回は天候に恵まれました。しかし、巨大な堰堤? 道路? が建設中でピックアップ! 寿司キャンプ場危うし! (地下鉄)



南下開始:

最北端を極めた後は南下するのみ。稚内市街では何故か食事のタイミングを逸してしまふ。R40に入ると雪がちらつき始める。それにしても幹線国道であるはずなのに、交通量は極めて「零」に等しい。空腹感もピークに達したものの、この先店は期待出来ない。コンビニでもあったら入ろう。結局昼食は豊富町に入った所のセイコーマート。雪の降る軒先で握り飯を食した。やっ目的地を決めなければならぬ頃である。最初はR40沿いの道の駅泊でも考えたが、寒中を走り続けたのでやっぱり温泉は外せない。天塩川温泉まで考えたのだが時間的にややくわしい。地図を見るとその手前の中川町に温泉マーク。また、当然営業していないだろうが、至近にキャンプ場。とりあえず行ってみる事にした。